
あいしてる

夢小路 一瞬

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あいしてる

【Nコード】

N2623E

【作者名】

夢小路 一瞬

【あらすじ】

米米クラブの「あいしてる」を元に書きました。

米米クラブ

「愛してる」という言葉を君の目の前で何度飲み込んだことだろう。

素直にどうして言えないのだろう……

俺は、君と一緒にいるときに、いつもこの言葉を言おうと思っている。

君の目を見て、そっと。

だけでも、君の目の輝きを見てみると、この言葉はのどの奥に引っかかってでてきてくれないのだ。

我ながら情けない思いばかりしている。

いつかきちんと言わないといけないのに……

いつもと気分を変えて、今日は公園でデートだ。

日溜まりのベンチに君は座っている。

少し離れたところで俺は立ったまま、君を見つめている。いつもと同じように。

君は俺を見ながら、手に持った缶ジュースを一口、飲んだ。

いったい、俺が何を考えているのだろう、と探るように……

意を決して、俺は君の横に座る。

ゆっくり、肩に手を回す。心なしか、手が震えているかもしれない。

右手が君の肩に触れると、君は俺の方を向いた。

いつもと同じように、すんだ二つの瞳が俺をとらえる。

その瞳の輝きに、俺はいつも何も言えなくなってしまうのだ。

深呼吸をひとつして、俺は君の体の向きを変えた。そう、俺に正面を向けるような体勢にするために。

「あ、あのなっ」

「なあに？」

君の目は相変わらず俺を見ている。もう一度、俺はさっきよりも深く息を吸った。

「俺……お前のことをっ」

「うん……？」

「あ、あのっ……」

「どしたの？」

クスッと君が笑った瞬間、俺の周りの空気が柔らかくなった気がした。

俺は君をまっすぐに見据え、そして一気にこう言った。

「お前のことを愛しているよ」

「！」

君の瞳が一瞬、大きくなった。次の瞬間、君の手から缶ジュースが転げ落ちた。

君の足元に転がった缶から、ジュースが流れ出てゆく。

そして、君は俺を見つめたまま、その大きな二つの瞳から涙をこぼした。

ぽろぽろとこぼれ落ちる、透明の滴を気にもせず、君は笑顔を作ろうとしていた。

しばらくの間、二人は無言で見つめ合っていた。

俺はその間、やっとこの一言が言えたという安堵感と、急に君が泣き出したことによる焦燥感との両方に包まれ、どうしていいのやら分からずにただ君を見ていただけだったのだが。

少しの後、君は頬を伝う涙をハンカチで拭い、俺を見てにこっと笑った。

そしてこう言った。

「ありがとう」

「え？」

「あなたが私を好きでいてくれるのは分かったの。でもね、やっぱりこういう風に言葉で言われると嬉しいなあって思ってた。そう思ったら、涙が止まらなくなっちゃったの」

「そうなんだ……」

「ずっと、言おうとしてくれていたのも知ってるわ。どうしても言えなくて、ギャグにしてごまかしてしまっていたのもね。だからよけいに嬉しいの。きちんと、言ってくれたから……」

「うん」

君はふと、視線を足元にやり、ジュースをこぼしたことにようやく気がついた。

「もったいない……まだ一口しか飲んでなかったのよ？」

君は笑いながらそう言っ、口をとがらした。

しょうがないので、俺は立ち上がってジュースを買いに行こうとした。

「どこ行くの？」

「君のジュース買いに」

そう答えると、君は慌てて後からついてきた。そして、俺の手を握ってこう言ったのだ。

「もういいよ、ジュースなんて。もっと嬉しいものもらえたからね」

そして、君の柔らかい唇が、俺の頬に触れた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2623e/>

あいしてる

2010年12月9日09時22分発行